

平成24事業年度決算について

本学においては、6月末に平成24年度の財務諸表を文部科学大臣に提出し、9月24日付で文部科学大臣の承認を受けました。この財務諸表は、「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」並びに「国立大学法人会計基準に関する実務指針」に基づき作成したものであり、広く国民の皆様には本学の財務状況をご理解いただくため、ここに公表いたします。

財務状況

(1) 平成24年度末における資産は18,395百万円、負債は6,799百万円、純資産は11,596百万円となっております。(貸借対照表参照)

資産については、前年度に対し、固定資産が、リース資産の減少及び減価償却累計額の増加等により686百万円の減となり、流動資産も、現金及び預金の減等により173百万円減となり、資産全体では、859百万円の減となっております。

負債については、前年度に対し、固定負債が、減価償却による資産見返負債の減等により52百万円の減となり、流動負債が、未払金の減等により119百万円の減となったため、負債全体では172百万円の減となっております。

(2) 平成24年度においては、経常費用7,526百万円、経常収益7,518百万円、当期総利益15万円となっております。(損益計算書参照)

経常費用については、前年度に対し、備品費や報酬・委託・手数料の増により研究経費が115百万円、教員人件費が120百万円の増となり、経常費用全体では35百万円の増となっております。

経常収益については、授業料収益が28百万円、受託研究等収益が67百万円、補助金等収益が46百万円の減となる一方、資産見返寄附金戻入が101百万円の増となる等、経常収益全体では7百万円の増となっております。

なお、当期総利益については、教育研究目的積立金への承認がなされれば、中期計画の剰余金の使途に従って、教育研究の質の向上及び組織運営の改善のために有効に活用する予定です。

本学の財務運営におきましては、一般運営費交付金の減少等、厳しい状況下にございますが、効率的な大学運営を努めるとともに、教育研究活動の充実・発展に邁進する所存でございますので、皆様方の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学